

受粉昆虫補助資材

POLLINUS

4種類の香りを配合 ポリヌス

有効成分:テルペン(乳化剤)

リナロール、シトラール、ゲラニオール、アネトール

使用方法:果樹など作物の枝(茎)に吊るして使用

剤型:徐放性パック剤

内容用:3.5ml X 10 個入り

10a(1000 m²)あたり

使用量:施設栽培:6~12 個

露地栽培:10~20 個

吊るすだけ！ 香りで受粉昆虫が集まる

【こんな場合におすすめ】

- 気温が低く訪花(受粉)昆虫が集まらない
- 花が少なく訪花(受粉)昆虫が集まらない
- ミツバチの数が少なく、受粉できるか不安

【対象作物】

- 仁果類(りんご、梨など)
- 核果類(桃など)
- ベリー類(いちご、ブルーベリーなど)
- うり類(メロンなど)

【対象昆虫】

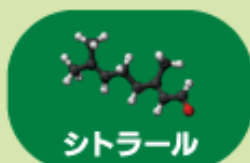
- ミツバチ
- ハナバチ
- ハナアブ



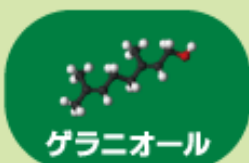
ハチが好む天然植物由来の香り成分4種類を配合

ポリヌスは、作物の受粉で利用されているミツバチなどの受粉昆虫が好む香りを配合した新しい補助資材です。果樹園や栽培施設内にポリヌスを設置することで、受粉昆虫がほ場に定着し、作物の品質および収量が向上します。

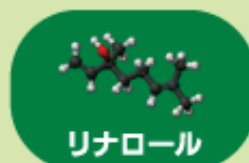
4つの成分構成



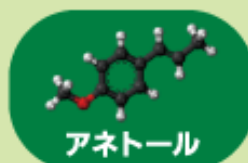
+



ナサノフ腺フェロモンを模倣した香り



+



花のように訪花昆虫を引き寄せる



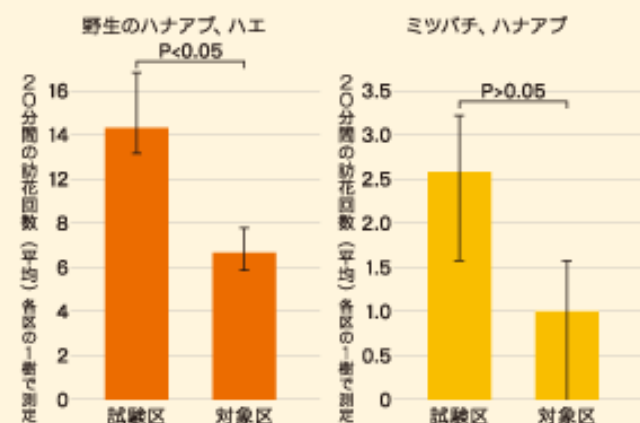
提供: Pollinator, April 2003, Sth Carolina

ナサノフ線とは、集合フェロモンを分泌して放出する線で、働き蜂のお尻から2番目の節を広げて白い部分が出た時にフェロモンとして放出します。働き蜂はこれを花に放出することで、他の働き蜂にどの花に蜜があるか共有します。

外役の働き蜂は出巣すると、触角にある特殊な感覚細胞を使い、様々に混ざり合う匂い物質を手掛かりに餌資源を持つ植物を探します。

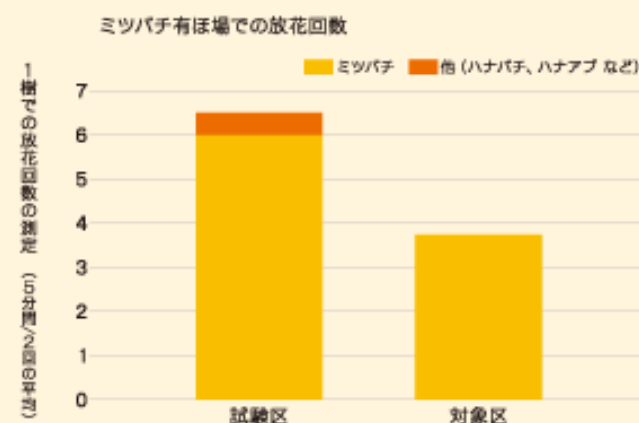
試験結果

梨園 千葉県市川市



試験期間	2024年4月7日
梨の品種	幸水 (自家不和合性、新高国産)
栽培面積	試験区: 0.5ha 対象区 (無処理区): 0.5ha
受粉方法	借りミツバチ: 無
開花予測/収穫予定	開花: 3月30日、収穫: 8月1日

梅園 群馬県高崎市



試験期間	2025年2月17日～4月16日
梅の品種	白加賀、他 (遅熟種)
栽培面積	合計: 70a 試験区 (20カップ/10a) 対象区 (無処理区): 20a ※
受粉方法	借りミツバチ: 有
開花予測/収穫予定	開花: 3月10日、収穫: 6月10日

※それぞれのほ場は離れている

【使用方法】

- *樹脂製カップからアルミニウムシールをはがし、果樹の枝などに吊るしてお使いください。その際、徐放性フィルターははがさないでください。
- *花の位置よりやや上部に吊るしてください。
- *ハナバチやハナアブを誘導するようにほ場に均一に設置してください。
- *露地で利用する場合は、多めに設置してください。
- *ミツバチなどの巣箱を導入する前に設置してください。
- *ミツバチなどの巣箱から2m以上離れた場所に設置してください。

※有効成分に含まれるテルペンと界面活性剤が分離する場合があります。よく振ってからご利用ください。品質や効果に問題はありませので、安心してご利用ください。

【効果的な設置方法】

- * 風が流れるような圃場では風上に設置してください。
- * 空気がこもりやすい場所への設置はさけてください。

【ハチが元気で働けるために】

- * 温度、湿度を適切に管理してください。(活動適温は20～25℃、湿度75%以下)。
- * 紫外線カットフィルムは資材メーカー等に確認した上で使用してください。
- * ハチが狭まったりしないように、出入り口やフィルムに隙間が無いようにしてください。
- * ミツバチなどの巣箱は農薬散布時以外なるべく移動しないようにし、また帰巢しやすいように台座を設け、青い看板等、目印を置くなどの工夫をしてください。

【農薬使用時の注意点】

- * 使用する農薬のラベルをよく読み、影響の有無と使用方法を必ず確認してください。
- * 農薬散布時はミツバチなどの巣箱を外に出し、農薬の影響日数を確認し十分に余裕を持った日数経過後に戻してください。(好ましくは2倍以上)。
- * 農薬の散布後はハウス内の換気を十分に行い、薬臭が残らないように注意してください。
- * マルチやシートの水たまりに農薬が残っている場合があります。しっかりと乾いた状態を確認してミツバチなどの巣箱に戻してください。

【保存上・使用後の注意】

- * 使用済みの袋、カップは圃場などに放置せずに適切に処理ください。